

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公表番号】特表2008-539974(P2008-539974A)

【公表日】平成20年11月20日(2008.11.20)

【年通号数】公開・登録公報2008-046

【出願番号】特願2008-511361(P2008-511361)

【国際特許分類】

A 6 1 M 11/00 (2006.01)

A 6 1 M 11/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 11/00 D

A 6 1 M 11/08

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カニスタに残されている投与数を表示する、計量式吸入器で使用するのに適切であるカウンタであって、

カニスタ内に残されている投与数の表示を与えるためのモジュールと、
吸入器の作動に応えて表示を更新するためのトリガリング機構とを備え、
それによりカウンタがカニスタに付加されている、

カウンタ。

【請求項2】

モジュールが、電子モジュールである、請求項1に記載のカウンタ。

【請求項3】

トリガリング機構が、カニスタの動きに応えて作動させられるスイッチを備える、請求項1に記載のカウンタ。

【請求項4】

トリガリング機構が、カニスタの動きに応えてスイッチを作動させるための少なくとも1つのプランジャをさらに備える、請求項3に記載のカウンタ。

【請求項5】

トリガリング機構が、カニスタの動きに応えてスイッチを作動させるための少なくとも1つのプランジャおよびばねをさらに備える、請求項3に記載のカウンタ。

【請求項6】

ばねがプランジャの行過ぎに対応する、請求項5に記載のカウンタ。

【請求項7】

スイッチがフリップアップスタイルのスイッチである、請求項2に記載のカウンタ。

【請求項8】

トリガリング機構が、スイッチを作動させるためのエラストマ部材をさらに備える、請求項2に記載のカウンタ。

【請求項9】

モジュールが、液晶ディスプレイを備える、請求項1に記載のカウンタ。

【請求項 1 0】

モジュールが、所定のシーケンスに残されている投与数のカウントを与えるために動作可能である、請求項 1 に記載のカウンタ。

【請求項 1 1】

モジュールが、カニスタに残存する作動の数、カニスタに残存する投与数、前回投薬からの時間、次回投薬までの時間、視覚警告、可聴警報、与えられた期間内での投薬、および過投薬に対する警報から成るグループから選択された 1 つまたは複数の特徴を表示することができる、請求項 1 に記載のカウンタ。

【請求項 1 2】

カニスタ、およびカニスタに付加されカニスタに残されている投与数を表示するためのカウンタを収容するキャップを含むカニスタアセンブリと、

カニスタアセンブリを収納し、吸入空気経路を設けるための作動装置本体を備える、計量式吸入器。

【請求項 1 3】

カウンタが、

カニスタに残されている投与数の表示を与えるためのモジュールと、

吸入器の作動に応えて表示を更新するためのトリガリング機構を備える、

請求項 1 2 に記載の計量式吸入器。

【請求項 1 4】

モジュールが電子モジュールである、請求項 1 3 に記載の計量式吸入器。

【請求項 1 5】

トリガリング機構が、作動装置本体に対するカニスタアセンブリの動きに応えて作動させられるスイッチを備える、請求項 1 3 に記載の計量式吸入器。

【請求項 1 6】

トリガリング機構が、作動装置本体に対するカニスタアセンブリの動きに応えてスイッチを作動させるために少なくとも 1 つのプランジャをさらに備える、請求項 1 5 に記載の計量式吸入器。

【請求項 1 7】

トリガリング機構が、作動装置本体に対するカニスタアセンブリの動きに応えてスイッチを作動させるために少なくとも 1 つのプランジャおよびばねをさらに備える、請求項 1 5 に記載の計量式吸入器。

【請求項 1 8】

ばねがプランジャの行過ぎに対応する、請求項 1 7 に記載の計量式吸入器。

【請求項 1 9】

スイッチが、フリップアップスタイルスイッチである、請求項 1 5 に記載の計量式吸入器。

【請求項 2 0】

トリガリング機構が、スイッチを作動させるためにエラストマ部材をさらに備える、請求項 1 5 に記載の計量式吸入器。

【請求項 2 1】

モジュールが、液晶ディスプレイを備える、請求項 1 3 に記載の計量式吸入器。

【請求項 2 2】

モジュールが、所定のシーケンスに残されている投与数のカウントを与えるために動作可能である、請求項 1 3 に記載の計量式吸入器。

【請求項 2 3】

カウンタが、カニスタに残存する作動の数、カニスタに残存する投与数、前回投薬からの時間、次回投薬までの時間、視覚警告、可聴警報、与えられた期間内での投薬、および過投薬に対する警報から成るグループから選択された 1 つまたは複数の特徴を表示することができる、請求項 1 2 に記載の計量式吸入器。

【請求項 2 4】

カニスタに残されている投与数を表示するための、計量式吸入器で使用するのに適切であるカウンタと、吸入器の作動に応えてカウンタを更新するためのトリガリング機構であり、トリガリング機構がさらに、カニスタの動きに応えてスイッチを作動させるための少なくとも1つのプランジャおよびばねを備えるトリガリング機構とを設けるためのステップと、

カニスタを押し下げるステップと、

ばねがプランジャの行過ぎに対応する、トリガリング機構を作動させるステップを備える、

計量式吸入器における行過ぎを管理する方法。